



かもみーる通信



65号 2015年11月

トピックス

キックオフ・シンポジウム
カモミール月曆
ロールモデル講演会
出前講義
育休者交流会
保育園たより

連携事業 キックオフ・シンポジウム

11月9日（月）、平成27年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」キックオフ・シンポジウム「女性研究者の活躍による岐阜創生をめざして～地域循環型女性研究者育成・支援プログラム～」を開催しました。

シンポジウムは、岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社 が連携しておこなう本事業の趣旨と取り組み内容を周知紹介するとともに、女性研究者の活躍する地方創生に向けて、それぞれの立場から有意義な方策を考えるものとしておこない、学内関係者94名および学外者70名が参加しました。

講演に先立ち森脇久隆学長が挨拶し、続いて、国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）科学技術プログラム推進部プログラム主管の山村康子氏が「日本における女性研究者育成・支援の意義」と題して、基調講演をおこないました。山村氏には、女性研究者育成・支援事業について、具体的な支援やその効果について全国大学の事例を交えて語っていただきました。「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム紹介」では、チーフ・コーディネーターの相原征代氏による、本事業についての説明の後、岐阜薬科大学教授・薬科学科長の永澤秀子氏、岐阜女子大学教授・学長補佐の藤田昌子氏、アピ株式会社キャリアアップ推進室長の荒木陽子氏から、本事業に向けての抱負が語られました。



パネルディスカッションでは、林正子副学長（男女共同参画推進室長）をモデレーターとし、岐阜新聞社編集局論説委員長 一川 哲志氏、岐阜県健康福祉部子ども・女性局局长 河野恭子氏、アピ株式会社代表取締役社長 野々垣孝彦氏、応用生物科学部助教 山根京子氏をパネリストとして、「女性研究者の活躍による地方創生に向けて」をテーマに各々の立場から討論がおこなわれ、女性が県内にとどまって上位職に登用される意義や、子育てしながら研究を続ける上で必要な支援について意見交換しました。

最後に、横山正樹理事（総務・財務担当）による閉会の挨拶で、連携事業への期待とエールが送られました。



カモミール月暦（室長からのメッセージ）

副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

大学改革シンポジウム「女性の活躍促進」参加報告

10月23日（金）、学術総合センター 一橋講堂にて開催された国立大学協会主催の第14回大学改革シンポジウム「女性の活躍促進」に、医学部附属病院 生熊道憲 事務部長、人材開発部 清水則之 職員育成課長とともに参加しました。

東京農工大学の松永 是 学長による基調講演「大学における女性の活躍促進」では、平成20年度以降の6年間に、女子学生比率について、農学系38.1%→44.5%、工学系15.9%→19.2%、女性教員比率について、農学系4.1%→13.3%、工学系6.6%→12.1%という瞠目すべき成果を挙げられたことが紹介され、産休期の専任ポスト配置制度をはじめとする女性研究者の出産・育児・介護支援、学会参加旅費補助制度など女子大学院生のキャリア支援、さらに離職者・復職者支援として女性卒業生ネットワークの整備など、実効性のある取り組みの数々について解説がなされました。

とくに、東京農工大学独自の女性教員採用加速の取り組みとして、常勤の教授・准教授・講師・助教に女性を採用した場合、当該専攻等に、プラス1名分の特任助教の人件費を支給するという、画期的な「農工大式ポジティブアクション『1プラス1』」に感銘を受けました。

続くパネルディスカッションでは、国立大学協会の山本健慈 専務理事（前・和歌山大学学長）がコーディネーターを務め、基調講演者の松永 是 学長、理化学研究所 羽入佐和子 理事（前・お茶の水女子大学学長、内閣府男女共同参画推進連携会議議員）、秋田大学 渡部育子 学長補佐、名古屋大学 藤井良一 太陽地球環境研究所教授、山口大学大学院 林 裕子 技術経営研究科特命教授がパネリストとして登壇し、それぞれの立場から大学における女性の活躍の現状や課題について討論がおこなわれました。

コメントーターの文部科学省生涯学習政策局 高橋雅之 男女共同参画学習課課長から、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の概要と、大学が実施すべき基本的な事項の説明があり、シンポジウムの幕が閉じられました。

先行機関における「女性の活躍促進」に向けての画期的な取り組みの数々を、岐阜大学男女共同参画推進室／人材開発部職員育成課の今後の活動に、ぜひ活かしてゆきたいと願っているところです。

名古屋大学男女共同参画室 訪問報告



前掲の国立大学協会シンポジウムでの名古屋大学 藤井良一 前・理事による成果報告に啓発され、11月16日（月）、文部科学省科学技術人材育成費補助事業（連携型）の先行機関である名古屋大学を、岐阜薬科大学 寺町ひとみ 教授、岐阜女子大学 藤田昌子教授、國定 久事務局次長、アピ株式会社 窪田有希 キャリアアップ推進室員、岐阜大学男女共同参画推進室 相原征代 チーフ・コーディネーター、中村江里コーディネーターとともに訪問し、男女共同参画室 室長 東村博子 副理事、榊原千鶴 准教授、三枝麻由美 助教、総務部 伊藤秀樹 職員課長から、「名大方式」として定評のある取り組みの数々についてご教示いただきました。

連携型共同研究助成制度、学術雑誌投稿論文の英文校閲費用助成事業、インターンシップ制度、英語プレゼンテーションセミナー、女性研究者リーダーシップ・プログラム、女性研究者データ登録など、名古屋市立大学、豊橋技術科学大学と連携しての女性研究者研究活動支援事業の諸取り組みからは学ぶところ多大であり、さらに、学童保育の現状、理系女子コミュニティ「あかりんご隊」結成の経緯や支援方法、男女共同参画推進専門委員会と男女共同参画推進室の連携体制、若手女性研究者サイエンスフォーラム、ジェンダー関連講義についても、貴重な情報の数々をご提供いただきました。

数多くの困難をひとつひとつ乗り越え、挑戦を重ねていらっしゃる、名古屋大学男女共同参画室の皆様の獅子奮迅のお働きが彷彿とすること頻りでした。

東村先生、榊原先生、三枝先生、伊藤課長さま、懇切丁寧で温かいご対応をいただきまして、本当にどうもありがとうございました。

ロールモデル講演会

平成27年度科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」

11月17日（火）大月市立大月短期大学 宮崎理枝先生を講師に迎え、ロールモデル講演会「地方都市での女性研究者の役割～そのワーク-ケア ライフバランスについて」を開催しました。イタリアの社会福祉制度がご専門の宮崎先生には、東京のなかでも、入園希望児童に比べ保育園の数が少ない「保育園激戦区」世田谷区から山梨県大月市まで、電車で2時間かけての遠距離通勤をしながら、子育て・介護と仕事を両立する苦労について語っていただきました。勤務大学が地方に位置し、規模が小さいことは、ワーク-ケア ライフバランスへの「個人レベルでの配慮」が必要とされる一方で、制度として整備されていない面もあり、両立支援のための具体的施策が必要であることが明らかになりました。

今回は、今年度オープンしたばかりの大学図書館「アカデミック・コア」の一部をお借りして開催しました。アットホームな雰囲気、参加者がそれぞれの課題について気軽に意見交換することができました。



サイエンス夢追い人育成プロジェクト （女子大学院生による出前講義）

10月30日（金）に、岐阜農林高校動物科学科2年生向けに、連合獣医学研究科博士課程1年生の佐野有希さんが、11月5日（木）に、大垣工業高校電子科1年生向けに、工学研究科博士前期課程2年の高島利紗さんが出前講義をおこないました。佐野さんは、どうしても獣医になりたいという夢をあきらめずにがんばり続けた体験を、高島さんは、数学が苦手だったのに、今では難しい数式を使うような研究をするようになった経験などを、現在の研究内容とともに語りました。大垣工業高校では、生徒さんからたくさんの質問が出されたあと、熱い感謝の言葉をいただきました。農林高校では、講義後のコメントとして、「自分も獣医になりたかったのですが、学力が伸びずにあきらめていました。でも、佐野さんの話を聞いて、自分もがんばろうと思いました。ありがとうございました」とのコメントが送られました。どちらの講義も、高校生の皆さんには深く心に残る講義となったようです。



▲ 佐野有希さん



▲ 高島利紗さん



育休者交流会



10月20日（火）育児休業中の事務系職員のための交流会を開催しました。

この交流会は、人材開発部職員育成課の次世代育成支援の取り組みの一環として、育児休業者の職場復帰を支援するために、平成24年度から毎年実施しているものです。交流会には、育児休業者9名と育児休業経験者2名、人材開発部職員3名が参加しました。復帰後の仕事と育児の両立に不安を抱えている育休者からの質問に経験者が応えたり、担当職員が両立支援制度の取得について説明するとともに、新たな支援制度の可能性についても話題となり、有意義な交流会となりました。



保育園たより



10月9日（金）はくちょう組とつばめ組の園児は、岐阜フィールド科学研究センターで、さつま芋掘りを体験しました。その後、はくちょう組は、里芋と落花生の収穫も楽しみました。



10月30日（金）ハロウィンの衣装をした、はくちょう組とつばめ組の園児が、本部棟の人材開発部を訪れました。はくちょう組は、男女共同参画推進室カモミール・カフェにも出かけました。大きな声で“Trick or Treat”と言って、お菓子をもらいました。



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL： <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail： sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。

